

修、人事、評価などの見直しをしつかり行うことにより、市民サービスの上と政策立案、事業遂行が迅速にできる職員育成と組織改革を図ってまいります。

これらの実現に向け、私が掲げた6つのキーワードを中心に所見を述べさせていただきます。

(1) 市民の意見を市政に反映する島づくり

今、佐渡市が抱えるさまざまな課題の克服に向けては、市民の皆さまとの議論を大切に、時には島外の方々からの意見も参考にしながら、市民、市議会、行政が同じ目標を定め、ワンチームで取り組みを進めていかなければなりません。特に、佐渡市合併後17年目を迎えた今、合併時に大きな課題であった周辺部の衰退の現実を今一度見直し、地域の特色に合わせた再生への取り組みを進めなければなりません。

そのためにも、市民の皆さまお一人おひとりのご意見や行動により、地域に賑やかさを取り戻していくことが、佐渡再生の第一歩になると信じておりますので、地域的確な情報収集、意見交換などによる地域づくりの拠点として、支所、行政サービスセンター機能の拡充を図ってま

いります。併せて、高齢化社会の拡大に対応し、地域に向向き、地域の声を聞く体制を作ってまいります。

(2) 産業振興と雇用の充実

佐渡に賑やかさを取り戻すための最大の課題である人口減少は、日本全体の問題であり、また、容易に解決できるものではありません。単純に人口の数にこだわるのではなく、佐渡ならではの豊かさ、暮らしやすさの提供を基本とし、雇用の確保、若者住宅の確保などから、生産年齢人口の拡大を確実に進めていかなければなりません。

そのため、企業や農林水産業者、観光事業者などへの規模拡大や高い技術の習得、人材の確保、販路拡大などの支援を行うことで、経営体力の強化を図り、雇用の拡大ができる産業の育成を図るとともに、島内での起業や島外からの企業誘致など、積極的な拡大を図ってまいります。

その支援策として、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金などの活用に加え、設備投資、研究開発、人材確保などを一定の規模で支援する新たな制度の創設を進めるとともに、企業誘致の支援策についても、大幅な拡大について検討を進めてまいります。



稲の生育調査をする4Hクラブ（農業青年クラブ）

農林水産業については、持続可能な体制づくりと担い手の確保が急務であります。

農業においては、集落営農、大規模化、複合化など、地域の特色に合わせた体制づくりへの支援策を新潟県、農業協同組合などと連携し、モデル事業の構築を進めてまいります。水産業については、佐渡の水産業の魅力为全国に向け発信するとともに、佐渡市水産業雇用促進センターを最大限に活用し、起業を目指す方への支援や漁業経営体への就業者の確保に向けて取り組んでまいります。林業においても、機械化の導入に

よる生産力の向上、コスト削減による経営体質の強化などと併せて、佐渡の自然の基礎でもある森林の整備、木質バイオマスなどによる再生エネルギーの拡大などを進めることで、就業者の確保に向けて取り組んでまいります。

また、地産地消の強化から、観光、食育などへの波及を図り、循環型経済、生物多様性保全などへの取り組みも進めてまいります。

観光については、佐渡の宝であるトキが舞う自然をはじめ、国内候補選定が目前の佐渡金銀山、すでに認定を受けている世界農業遺産や佐渡ジオパークなど、佐渡を代表する観光資源のほか、歴史や文化、芸能なども、島内にちりばめられております。

佐渡にお越しになるお客さまも、受け入れる佐渡市民も、安心できる新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、歴史、文化、伝統が体感できる受け入れ体制の整備を進めてまいります。また、島の自然を活用したスポーツツーリズム、島の生活とともに息づく文化財を活用した文化ツーリズムなどの積極的な展開も併せ、滞在型観光への転換を最重点目標とし、佐渡観光交流機構など関係機関と連携し進めてまいります。

私は、産業の振興と雇用の確保、さらに観光の活性化に必要なキー

